

中途障害者向け6点入力式簡易メモ装置

ノート・テイキングに苦慮する中途視覚障害者向けメモ装置の開発

開発の背景（実態把握調査）

- ・当センター療育教育課程入所者を対象に主として学習手段を調査
- ・高齢化、全盲者の減少傾向、糖尿病性網膜症者の中・高齢層への集中と視覚障害の重度化
- ・使用文字は学習手段の多様な組み合わせで支えられていることが明らかになっている

開発のポイントは？

- ・高機能化を追求せず、6点スイッチによる文字入力と他の4点スイッチとの組み合わせによる簡単な編集機能のみ搭載しています。入力内容はメモリに保存し、読み出すことが可能です。
- ・パソコンとUSBケーブルで接続することで保存内容をキーボードの代わりに入力することもできるように開発を進めています。

実用化に向けて

- ・教室間の移動を考慮して、軽量・小型化を目指しています。
- ・電源を入れると直ぐに起動するので、操作を開始するまでの待ち時間はありません。
- ・入力した内容は直ぐにメモリに保存されますので保存操作は必要ありません。

実用化に向けて

- ・音声辞書を搭載していないので、入力した文字を滑らかに読むことはできません。今後の課題となっています。
- ・平成23年度 厚生労働省障害者自立支援機器開発促進事業により、製品化を目指しています。



- ・W160mm × D100mm × H約30mm
- ・重さ約380g
- ・バッテリーに充電
- ・連続使用4時間为目标

研究代表者

国立障害者リハビリテーションセンター
自立支援局 伊藤 和之 itou-kazuyuki-0303@rehab.go.jp
研究所 伊藤 和幸 itoh-kazuyuki-0923@rehab.go.jp

